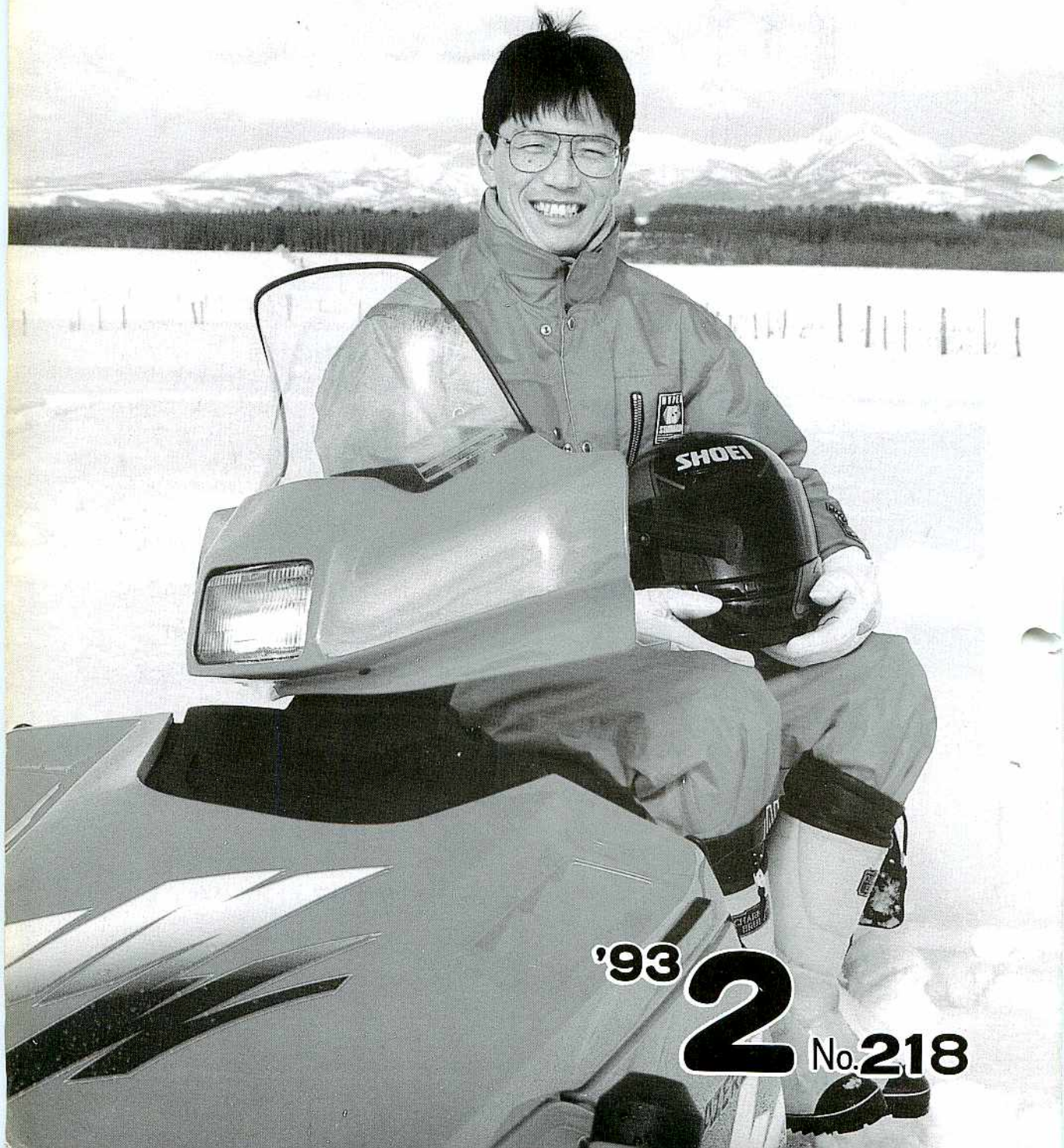


のうきよう ちがいでっ



'93

2

No. 218

のうきよう ちがいでつ

ウィンタースポーツたけなわ
体に風を受け

白銀の世界へ飛び出しましょう。



もくじ

- 3 ——— 〈シリーズ〉
未来を担う若者 No.9
長繩 義博
- 4 ——— 釧路沖地震!!
- 6~7 — 〈営農技術〉
単味飼料の利用
北根室地区農業改良普及所
- 8 ——— 〈ミルクタイム〉
この山を越えたら
保科 妙
- 9 ——— 〈わが家の人気者〉
仔牛の世話は私の担当
佐藤みずきちゃん
- 10~11 — 平成5年営農計画総集計
- 14~15 — 平成4年12月末農協財務状況
- 16 ——— 肥育牛舎新築工事始まる
- 19 ——— 理事会の経過
- 20~21 — 〈暮らしの知恵袋〉
ゴミを考える
北根室地区農業改良普及所
- 22~23 — 今月のフォトアルバム

あす 未来を 担う若者

協和 長繩 義博さん(32歳)



慎重に経営戦略を考えている義博さん

ん菜四haを作付する酪畑兼業農家。平成三年十一月に父、弘さんから経営を移譲された義博さん、昨年は経産牛、育成牛兼用の給餌施設を建設。この時初めて自分の名義で資金を借り入れしたという。「経営を任せられた不安にプラス、給餌舎の借り入れと、昨年一年間

経営効率とコスト低減を目指し

付も土地の更新、収益性を考える。と捨てがたいものがあるが、労働力、土地面積の面からみると今が限界のように思う。今は一定の経営規模を定め、その中で現状の施設を効率よく利用し、コスト低減を計り、所得を向上させ、自己資金の確保を計って

は不安と心配で無我夢中で経営に取り組んだ」と話す。

「しかし、今振り返ってみると実際やっている事は以前と変わらないよ。うな気がするんだけど、やっぱり経営に対する責任感が少し出て来たのかな?」と。今まで父がやって来た経営の偉大さをつくづく感じているようである。

長繩牧場は、経営面積四十五haに乳牛九十頭(経産牛四十二頭)、年間搾乳量約三百tを出荷し、て

については、ある程度生産は伸ばしたいが大きな経営の転換や、規模拡大は考えていない。てん菜の作

牛をつくり、安全で中味の濃い美味しい牛乳生産を目標にしているという。

趣味はスキー、スノーモビル、

健康な
牛作りで美味
しい牛乳生産を



行きたいとなかなか慎重である。牛乳についても濃厚飼料多給の高泌乳型にチャレンジするのではなく、良質な自給粗飼料で健康な

バイク、ボーリング、ゴルフとなかなかレパートリーも多い。特にゴルフは始めて間もないようですが、楽しくてしょうがない。

いとこの事。今年はスコアー一?を切るよう頑張りたいとはりきっている義博さんです。



「**ガラ!**
恐怖の

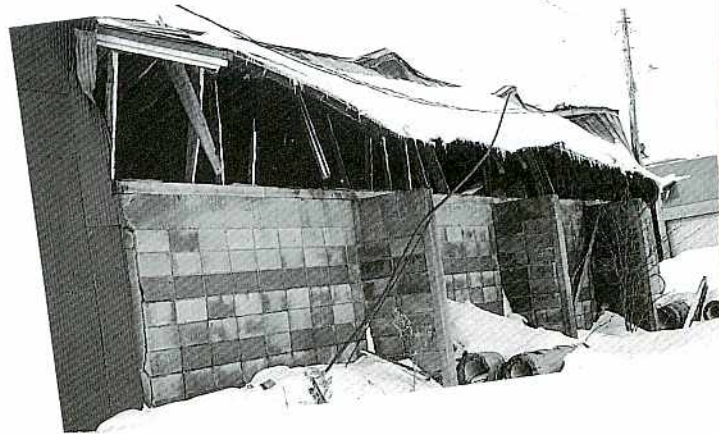
マグニチュード7.8

釧路沖地震!



バンガーサイロの屋根が全壊

一瞬。パニック状態に陥いる



穏やかに明けた平成五年、大雪、吹雪もなくいつものと変わらぬ家族だんらんのひと時を過ごしていた一月十五日午後八時六分、突然強烈な地震が釧路地方を中心に襲いかかった。

マグニチュード七・八、震源地は釧路沖一〇七km、釧路震度六(烈

税 知っておきたい
税の知識

釧路沖地震による

被災納税者の救済措置

一月十五日の釧路沖地震で被災された皆様方に、心からお見舞い申し上げます。

国税の申告・申請・納付などの期限の延長

平成五年一月十五日の釧路沖地震により被害を受けた方については、災害のやんだ日から原則として一カ月以内(被害程度が著しいなどやむを得ない理由があると認められる場合は二カ月以内)に所轄税務署長へ個別に申請されますと、国税の申告・申請・納付などの期限について、その被害の程度に応じて災害のやんだ日から二カ月以内の延長が認められます。

国税の軽減・免除・納税の猶予など被害を受けられた方は、次のような申請を個別にすることに よって、国税の軽減・免除・納税の猶予などを受けることができます。

○源泉所得税の徴収猶予、また

牛舎、住宅に被害

震) 根室震度四(中震)と発表された。

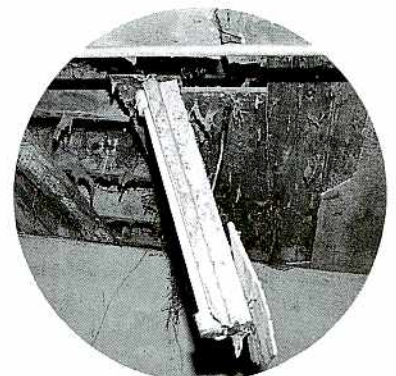
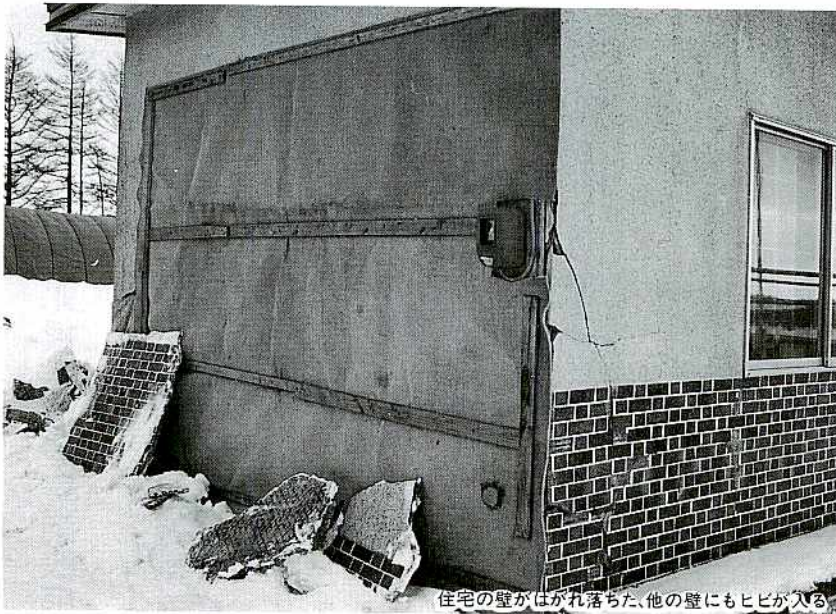
地震の瞬間、激しい振動に住宅はきしみ、家具類は倒れ、食器は割れ床に散乱する。身動きがとれ

ず一瞬パニック状態に陥った。

釧路管内では二人の死者や家屋の全壊、道路陥没など大変な被害となっている。

根室管内では、震度四の中震と釧路管内に比べ被害は少なかったものの、当農協組合員被害調査で

住宅の壁がはがれ落ちた、他の壁にもヒビが入る



牛舎処理室の天井モルタル部がはがれる

は、バンガローの屋根が全壊したり住宅、牛舎の壁が一部はがれ落ちた所や、牛が暴走し流産、また、温水器の配管が折れるなど三十数件の被害状況となって

おります。

幸いにも農協では店舗などで酒類や化粧品の一部が割れた程度で事務所を始めとする各部門では、業務に支障をきたす被害はありませんでした。

被害を受けられた組合員皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

住宅の集合煙突が割れた



は還付の申請
住宅・家財の半分以上に被害を受け、かつ、平成五年分の所得額の見積額が六百万円以下の方は、災害減免法の規定により源泉所得税の徴収猶予や還付を受けることができます。

○納税の猶予の申請

財産に被害を受けたため税金を一時に納付することができない方は、一年以内(事情によっては更に一年)の範囲で納税の猶予が受けられます。

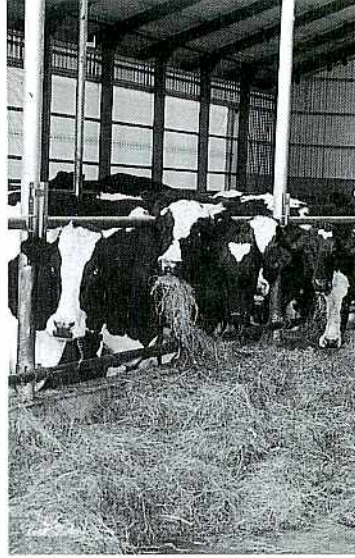
○所得税の軽減・免除(平成五年分の確定申告で行なうことができます)

一、住宅、家財などの損害額が所得金額の十分の一を超えた方または、災害関連支出が五万円を超えた方は、雑損控除として、その超えた額が課税対象から控除されます。

二、住宅や家財の半分以上に損害を受け、しかも平成五年分の所得金額が六百万円以下の方は、災害減免法の規定により所得金額に就いて、所得税が全額免除あるいは一部軽減されます。

一の方法と二の方法については、いずれか有利な方を選択することができます。

単味飼料の利用



効率的で収益性の高い生産の達成や、高泌乳牛飼養の必要性が高まると同時に、TMRの普及、流通網の発達により数多くの単味飼料が手に入るようになりました。

今後、単味飼料を有効に利用するために、単味飼料の特性を理解すると同時に、自家の給与戦略の構築も必要とされます。

◎メリットを引き出すために
単味飼料の利用を自家にとってメリットのあるものにして行くために、まず自己経営の中の給与戦

図-1

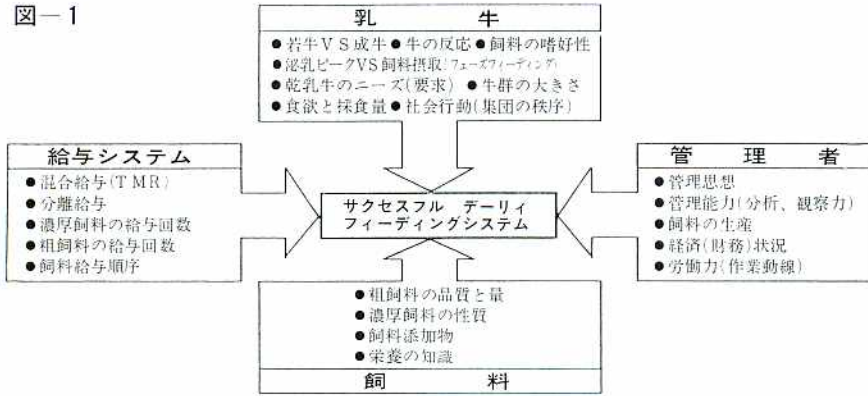
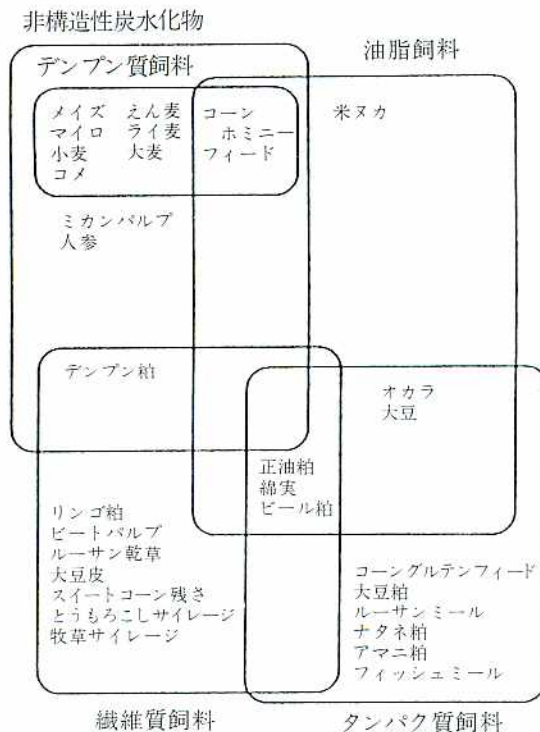


図-2 成分特性による単味飼料の分類



略や乳牛管理の方向性を考える事が必要で、簡単に言えば、隣家がある単味飼料を使って良い結果が出たとしても、自家では良い結果が得られるとは限りません。(これではメリットは全くない)飼料給与を有効なものにするため、図一のようなことを念頭におくことが重要です。

◎単味飼料の分類

単味飼料は大きめに図二のように分類されます。

- 非構造化炭水化物飼料 (NFC 含量五〇%以上)
- デンプン質飼料 (デンプン含量

三〇%以上)

- 繊維質飼料 (NDF含量三五%以上)
- 油脂飼料 (脂肪含量一〇%以上)
- 蛋白質飼料 (有効性蛋白質含量二〇%以上)

◎単味飼料の特性

表一は、比較の利用頻度の多い単味飼料の特性を示したものです。単味飼料は、乳牛に必要な養分を完全に補給することはできませんが、前記したことを考えた上、自家の飼料給与に組み入れることでその効果を生かすことが出来ます。

表1 種々の飼料特性・給与上の注意・給与ガイドライン(デーリージャパンより)

魚粉	<p>*特性 魚粉のタンパク質はひじょうにバイパス率が高い。そのバイパスタンパクは品質的にもひじょうに良い。なぜなら非須アミノ酸、リジン、メチオニンが豊富に含まれている。このためアルファルファや早刈りの牧草サイレージとの組み合わせが良く、ルーメン内の分解性タンパクが高くなる傾向がある。しかしバイパス率は平均で60%であるが、44~76%とばらつく。この理由は乾燥前の魚粉の可溶性成分の量や圧搾前の魚粉の鮮度に影響される。</p> <p>*給与上の注意 食欲減退を防止するために徐々に給与する。タンパク質の要求量が多い泌乳前期に給与するとかなり効果があるため、乾乳後期から徐々に給与しはじめる。 魚粉は1日1頭当たり最大100gの魚油(脂肪)を供給できる。給与量が多いと乳脂率が低下する。その脂肪含量は供給源によって違うため脂肪含量を確認する。</p> <p>*給与ガイドライン 1日1頭当たり0.7kg程度</p>
綿実	<p>*特性 全粒綿実はタンパク質、脂肪、セニイ、エネルギー含量が高い。1種類の飼料にこれだけの栄養を含んでいる飼料は他にない。リント(綿花の長繊維)が付着している全粒綿実は見た目に白くふわふわしている。時にはファズイーシードと呼ばれる。リントを取り除いた綿実はデリンテッドシードと呼ばれ、見た目は黒くなめらかでファズイーシードよりわずかにタンパク質と脂肪は高い傾向にある。全粒綿実を泌乳中に給与すると乳脂率が高くなり泌乳の持続性が向上する。</p> <p>*給与ガイドライン 1日1頭当たり1.8~3.1kgに制限する。</p>
大豆粕	<p>*特性 大豆粕は全粒大豆から油から抽出した残さ物である。処理方法は溶媒抽出とエキスペラー処理がある。熱を加えエキスペラー処理したタンパク質は溶媒抽出よりルーメンの分解性は低い。 バイパス率は加熱しないタンパク質のバイパス率が14%に対し120、130、140℃と加熱処理するとバイパス率は各々59、71、82%と向上する。</p>
小麦	<p>*特性 嗜好性が良く、粗く砕砕したり圧搾した方が効果的である。しかし完全に砕砕してしまうと粉末状態により嗜好性は良くない。トウモロコシや大麦よりタンパク質が高く、エネルギーはトウモロコシと同じくらいである。</p> <p>*給与ガイドライン 穀類に50%以上混合してはいけない(最大33%まで)。1日1頭当たり5.5kg以上給与してはいけない。</p>
大豆	<p>*特性 泌乳牛に対し、1日1頭当たり1.4~2.3kgあるいは、穀類に20%程度混合して給与している。これより多く給与すると下痢しやすく、ルーメンバランスがぐずれ、乳脂率が低下する。もし飼料中に尿素が入っていれば、給与する前に熱処理する必要はない。熱処理した大豆を給与した方が産乳量が多いという研究が明らかになっている。ルーメンの分解性を低くするために148℃~176℃の熱処理をすべきである。これより温度が高いとタンパク質の利用性が低下する。</p>
大麦	<p>*特性 トウモロコシのエネルギーの95%でセニイは高い。大麦の成分値は、供給源や生育状況によって変化しやすい。たとえばCPは7~13%まで変化する。</p> <p>*給与上の注意 乳牛の利用効率を最大にするため粉砕する。多量に給与しても嗜好性が良く、給与上、問題はない。</p>
ビール粕	<p>*特性 ビール醸造の副産物である。中程度のタンパク質飼料で、エネルギーは粉砕トウモロコシの75%に相当する。乾燥させたビール粕のタンパク質はルーメン内では比較的ゆっくりと分解される。ひじょうに扱いやすく、ほこりっぽく、穀類ほど嗜好性は良くない。</p> <p>*給与ガイドライン 乾燥ビール粕は穀類に混合する場合、25%以上混合してはいけない。泌乳牛には1日1頭当たり4kgまで給与しても良い。生ビール粕は16~18kg以上給与してはいけない。</p>
トウモロコシ(コーン)	<p>*特性 エネルギーが高く、タンパク質、セニイ、ミネラルが低い。嗜好性が良く、主なエネルギー値として穀類に混合されている。エネルギー値は加工処理方法で変わる。粉砕はひき割りよりエネルギー値は高い。全粒はひき割りよりエネルギー値は低く、消化されずに糞中に排泄される傾向がある。高リジントウモロコシ(コーン)は通常のトウモロコシと比較し、リジン、トリプトファン、CPが高い。高リジントウモロコシはオーベイク2とも呼ばれている。 ワキシーコーンでの粉はイエローコーンのデンブンと比較し、アミロースとアミロペクチンの割合が異なっている。尿素をベースにした飼料を摂取している場合、デンブン源としてはイエローコーンの方が効果的に尿素を利用する。</p>
ビートパルプ	<p>*特性 ビートパルプは、砕砕状態やベレット状で給与できる。ビートパルプのエネルギーは、とうもろこしの8.5%でタンパク質も若干高い。繊維は15~20%の範囲で消化率は非常に高い。繊維の消化率が高いと粗飼料の給与割合が低い場合、乳脂率の低下を防止する。嗜好性が良く、搾乳牛で1日1頭当たり3kgまで給与できる。 ルーメン内でかさばるので、給与量が多いと乾物摂取量の低下がおこる。</p>

MILK

みるく。たたいむ

TIME

この山を
越えたら
保科 妙

道東の中標津という地に初めて来たのは、昭和五十六年の一月でした。JR鶴岡駅(山形県)から秋田駅へ。さらに秋田空港から千歳空港へ。運悪く千歳から釧路への飛行機が欠航。仕方なく六時間も特急列車に揺られて、釧路駅に着いたのは夜の八時ごろだったでしょうか。そこからまた車に乗り継ぎ、今わが家となった夫の家にたどり着いたのは、夜中のことだったと思います。車中、「もうすぐだから……」というのに、民家の明かりが全然見えてきません。「変だなあ、

だんだん山奥に走っているみたい」と、丸一日のり物に揺られて疲れているはずなのに、頭だけは妙に冴え、何ともいえない不安でいっぱいでした。

それから、あれよあれよという間に結婚し、十二年になりました。ご存知の方も多いかと思いますが、ここ中標津は酪農地帯ですから、群部は農家が点在しているのです。私の実家はといえば、大声を出せば向こう三軒両隣、全部つつ抜けという住宅事情の中で暮らしていました。ですから、この地に来て、隣の家に行くのも車、車でびつくりするやら、何だかもつたないような気がしたものです。

そんなある日、牛の難産のため隣家に人手を借りに行こうと、私はいつもの癖で走って行きました。そうしたら、みんなに笑われ「あっそうか、車で行ったほうが早かつたかな」。生活環境から、何もかもすべてと違っていいほど違う世界から入った農家ですが、十年経ち、まんざら農業も悪くないかな、と思えるようになりました。生活を楽しむ余裕が出てきたのは、やっとな最近のことですが……。

思えば、出産、育児、家事、農業の事など何も知らず、まして乳牛を見るのも、触るのも初めてだった私が、今こうして搾乳をこなす事ができるのも、周りのみなさんのお陰と、心から感謝しています。若くて無知だったからこそ、がむしゃらに頑張った自分もほめてあげたい。

今、農業を取り巻く環境はとてつもなく厳しいもので、とかく悪い方ばかり目を向けがちになります。ため息ばかりついていては、これからの農業に希望や夢が持てなくなるような気がして、わずかな光を目指して、わが家の経営も暗中模索の状態です。

これからは、働くばかりでは楽しくないので、余暇を楽しみ、ゆとりを持った生活を送りたいものです。

そのためには、最低二つの趣味を持ちたいなあと考えています。その一つは、農業外の人達と交流でき、さまざまに分野について視野を広めることのできるものを。そしてもう一つは、夫婦二人の共通の趣味を。

苦しい今の山を何とか登り切れば、あとは楽な下りがあるものと信じ、しっかりと大地を踏みしめこの地に根ざしていこうと思っています。



わが家の人気味

仔牛の世話は私の担当



豊岡地区 佐藤久見・ロリータさんご夫妻

長女 みずきちゃん(3歳)

は、運転免許証取得のため母国に帰りました。もちろんママがいないとダメな甘えっ子みずきちゃんも同行です。子供達と遊んでいても言葉が通じず「みずきの言う事どうしてわかんないの!!」とかんしゃくをおこしながらも、一カ月いるうちに少しずつ英語もマスターし、楽しく過ごしてきたそうです。姉妹でも性格はまったく違うの。みずきはきかないし、妹の物も自分の物にして貸してあげないケチ姉ちゃん。

この間は、自分の髪と真奈美の髪までハサミで切っちゃったのよ」と話すロリータさん。

上着も着ずに元氣一杯外で遊ぶみずきちゃんは、寒さ知らずの元氣っ子。「あのね、地震すごかったもね」と初対面の私に話しかけてくれたみずきちゃんと、その時の様子を顔をこわばらせ表現してくれた真奈美ちゃん(一歳)の二人は、とても人なつっこい。

ママっ子のみずきちゃんは、真奈美ちゃんが生後一カ月の時、妹に手をかけるママを見てやきもちのあまりベットから妹を落としてしまった事もあり、この時ばかりは死ぬかと思ったと、お母さんのロリータさんが話してくれました。昨年ロリータさん



おばあちゃんも交えてケンカしてもやっぱみずきちゃんにはかなわないとか

でも、毎朝五時には起床し、牛に草をやったり、ミルクをちゃんとあたため仔牛に与えたりと「悪いところもあるけど、いいところもあるのよね」と子供の成長ぶりをロリータさんは嬉しそうに話します。四月から保育所に通うみずきちゃん、そして、もうすぐ二歳になる真奈美ちゃん。二人で仲よくケンカしながら今日も元氣一杯外で遊んでいることでしょうね。



みずきちゃんはお茶碗洗いの得意です

集計

営農計画は、その年の組合員、農協事業の基本書です。

単位：千円

	収		入	
	4年計画	4年実績	5年計画	過不足
生乳	5,989,548	6,182,316	6,488,347	306,031
補給金	599,531	642,474	577,940	-64,534
小計	6,589,079	6,824,790	7,066,287	241,497
乳用牛	698,757	450,423	585,784	135,361
肉用牛	371,521	203,917	264,797	60,880
その他畜産物	18,079	5,997	17,301	11,304
個体販売計	1,088,357	660,337	867,882	207,545
家畜共済金	183,635	426,314	189,527	-236,787
農業雑収入	89,536	271,374	114,035	-157,339
畜産物計	7,950,607	8,182,815	8,237,731	54,916
馬鈴薯	557,174	549,234	516,724	-32,510
てん菜	184,162	177,838	161,393	-16,445
その他農産物	22,414	21,672	18,377	-3,295
農産収入計	763,750	748,744	696,494	-52,250
農業収入計	8,714,357	8,931,559	8,934,225	2,666
農外収入	47,026	92,626	46,658	-45,968
資金借入	2,370	5,411	0	-5,411
資金受入	217,020	291,421	183,963	-107,458
その他	0	0	0	0
合計	8,980,773	9,321,017	9,164,846	-156,171

	総収入合計
4年計画	8,980,773 ^{千円}
5年計画	9,164,846 ^{千円}

	総支出
	8,963,770 ^{千円}
	9,149,474 ^{千円}

	収支・過不足
	17,003 ^{千円}
	15,372 ^{千円}

	農業収入
4年計画	8,714,357 ^{千円}
5年計画	8,934,225 ^{千円}
4年実績	8,931,559 ^{千円}

	農業経営費
	5,642,472 ^{千円}
	5,763,333 ^{千円}
	5,888,857 ^{千円}

	農業所得	所得率
	3,071,885 ^{千円}	35.3%
	3,170,892 ^{千円}	35.5%
	3,042,702 ^{千円}	34.1%

	平成4年	平成5年	
乳量	83,496 ^t	90,304 ^t	
てん菜	253.2 ^{ha}	217.2 ^{ha}	
馬鈴薯 しよ	種子	79.1 ^{ha}	81.4 ^{ha}
	澱原	803.4 ^{ha}	756.5 ^{ha}
乳用牛	3,572 ^頭	3,851 ^頭	
肉用牛	5,598 ^頭	5,940 ^頭	

平成5年

営農計画総

	支		出	
	4年計画	4年実績	5年計画	過不足
労賃	88,813	87,381	88,574	1,193
肥料	668,349	651,515	652,173	658
生産資材	379,724	404,574	385,014	-19,560
水道光熱	334,939	350,455	342,220	-8,235
飼料	1,875,699	2,037,558	1,943,985	-93,573
養畜費	285,074	292,372	298,806	6,434
素畜費	80,225	81,920	56,110	-25,810
農業共済	282,033	277,988	344,875	66,887
賃料料金	524,739	536,030	549,344	13,314
修理費	269,115	307,541	273,553	-33,988
租税諸負担	365,777	358,156	362,759	4,603
支払利息	346,642	349,994	340,474	-9,520
その他経営費	141,343	153,373	125,446	-27,927
農業支出計	5,642,472	5,888,857	5,763,333	-125,524
家計費	1,387,363	1,525,754	1,461,193	-64,561
経営費+家計費	7,029,835	7,414,611	7,224,526	-190,085
資金返済	791,441	868,169	772,924	-95,245
貯金共済	864,205	921,753	900,931	-20,822
農業機械	100,592	202,252	95,916	-106,336
その他	177,697	275,191	155,177	-120,014
合計	8,963,770	9,681,976	9,149,474	-532,502

年度	科目	総所有地	改良草地	永年草地	畑地	山林・原野・その他
4年		16,243.81 ^{ha}	9,132.07 ^{ha}	3,168.30 ^{ha}	1,278.10 ^{ha}	2,665.34 ^{ha}
5年		15,849.32 ^{ha}	9,046.12 ^{ha}	2,902.01 ^{ha}	1,354.50 ^{ha}	2,546.69 ^{ha}

年度	科目	乳牛総頭数	12ヶ月以下	13ヶ月～24ヶ月	25ヶ月以上
4年		23,577 ^頭	4,819 ^頭	5,225 ^頭	13,533 ^頭
5年		23,939 ^頭	4,439 ^頭	5,450 ^頭	14,050 ^頭

去る一月十一日(月)、中標津畜産食品加工研修センターに於いて、手造りソーセージ実習を行いました。参加者は、クラブ会員高学年を対象として十二人の参加がありました。



慣れない手つきですが、一生懸命がんばりました

中標津ジュニア
ホルスタインクラブ
ウインタースクール

手造りソーセージに挑戦



おいしそうなおソーセージの出来上がり

ソーセージを造るに当って加工センターの製造係長の河口氏に手ほどきを受け、あらびきソーセージを造りました。会員はそれぞれ見ぶり手ぶりで、微妙に指先を使い、羊の腸に肉を詰めて行き一人約1kgのソーセージを造りました。

今回の実習で会員それぞれが、手造りの喜びを感じ取る事ばかりでなく、各農家で生産された農畜産物が、更に手を加える事によりより付加価値を付けて有利に販売出来るんだと言う事と、何んでもお金を出して買うのではなく、ちよつとした工夫で、それぞれの家で自給出来るんだと言う事を感じとってもらえたと思います。



北海道立農業大学校主催による農村社会、生活講座が一月二十日町役場会議室を会場に開催され、酪農家や各関係機関約七十人が参加し、「緑あふれる農村景観をどう活かすか」をテーマに、講演やデイスカッションが行なわれました。

講演では、十勝管内で公園設計などを手がけている高野ランドスケープランニング株式会社の高野文彰代表が、地域作り活

これからの
農村景観とは
農村社会、生活講座開催



ボーリング大会 皆ハッスル

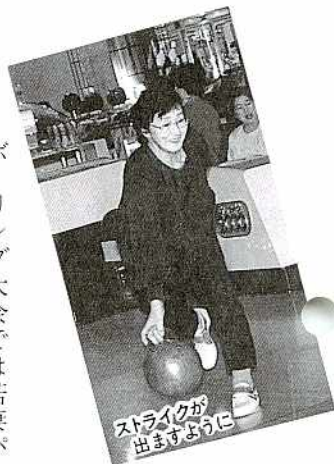
新年の
幕開け
婦人部新年会

毎年恒例婦人部新年会が、ホテル秀月にて盛大に開催されました。毎年マンネリ化しつつある新年会の内容を充実させようと、今年は午前中はボーリング大会、午後からは新年会という日程で行なわれました。



恐怖の風船割りゲームに挑戦
(足をふまないように)

ボーリング大会では若妻パワーを押さえ、拓農の佐藤美代子さんがダントツ優勝。新年会は場所をホテル秀月に移し、横田部長の開会挨拶のあと、五百木参事、普及所・雨野所長の祝辞をいただき、青年部・金子部長の音頭で乾杯をし会食に入りました。余興では、日頃から稽古に励んでいる大正琴と、プロ並みのカラオケが披露され、琴の音色、美声に皆うっとり聞き入っていました。ゲームも全員での風船割りゲームなど会場は大賑わい。午前中のボーリング大会、新年会のゲームに皆ハッスルし、とにかく楽しい一日を過ごしました。



グループ討議では色々な考えが話されました

性化には、「土地、地域の歴史、生活、文化を原点から見直し、他にあるもののコピーではなく、そこにあるものを利用し自分たちの手で作って行く事が大切」と話されました。

その後、道立中央農業試験場・太田アイ子主任技術員がコーディネイターに、十勝西部地区普及所・榎本氏、講演を行なった高野氏、帯広市建築家・吉野氏、酪農家・長正路氏をパネラーに、ディスカッションが行なわれ、それぞれ業種の違う中でさまざまな角度から農村景観のあり方について話されました。

続いて、参加者全員によりグループ討議が行なわれ、自然環境に対する農村景観との相関性、現状での問題点などの意見を交わしました。

農協の 財務状況

平成四年度十二月末における財務の状況についてお知らせいたします。

●貸付金

前年同期より五千万円の増加となっておりませんが、主なものは受託資金の農業改良資金、総合施設資金などです。その他は約定償還がすすむ中で、残高は減少の傾向にあります。

●クミカン

貸越残について、前年同期より一億百万円減少しておりますが、生産の伸びが大きな要因と考えられます。

●貯金

前年同期より二億八百万円の伸びで、昨年よりは好転しておりますが、子測よりは伸び率が低く、家畜個体価格の低迷が依然として

大きく影響しているものと思われ
ます。

●自己資本

出資金、法定準備金、特別積立金で、それぞれ増額しており、前年同期より七千九百万円の増となっております。

●販売事業

本年は馬鈴しょ、ビートとも前年に比して不作となり、ビートでは前年に対して約三千四百万円の減少、しかし澱粉では共計精算が一年遅れとなるため、約九千二百万円の増となっております。

畜産物では、家畜の個体価格が低迷しているため、取扱い頭数は増加しているものの、取扱い高は肥育牛を除くと減少しています。

生乳販売高については、前年比一〇パーセントで補給金を含め五

億三百万円の増。販売品全体では、六億九千百万円の取扱い高増となっております。

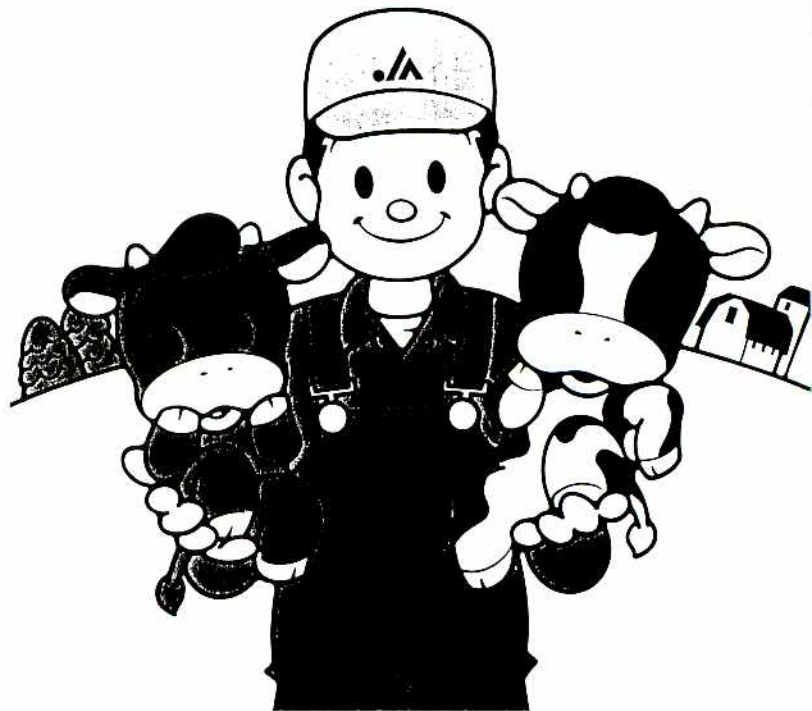
●購買事業

営農資材、生活店舗を併せて取扱い高は、約一億二千二百万円の増となっております。

営農資材では飼料、燃料、農機具、その他資材で取扱い高が増加しており、生活店舗についても前

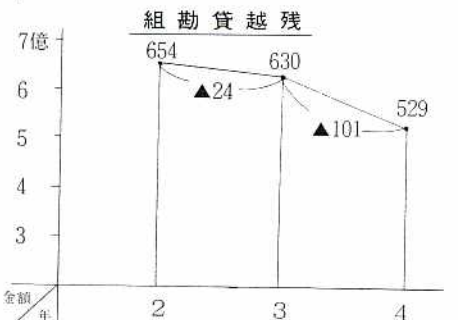
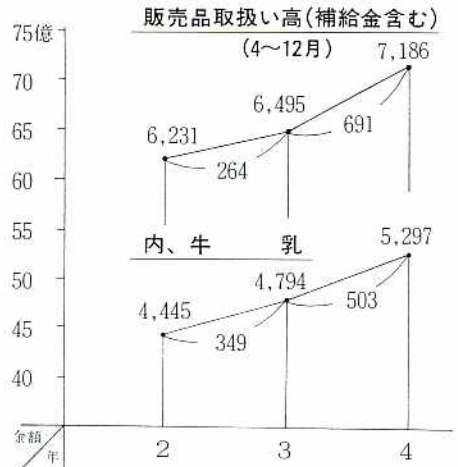
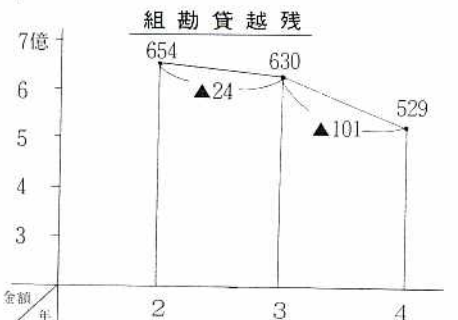
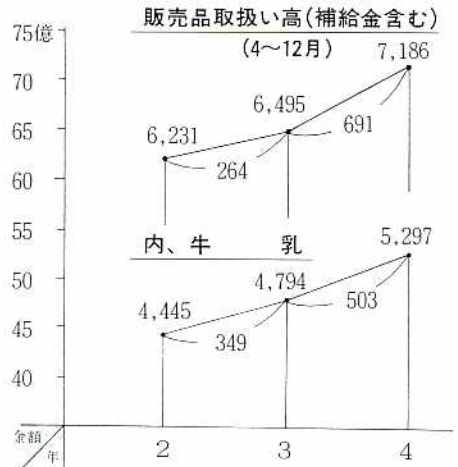
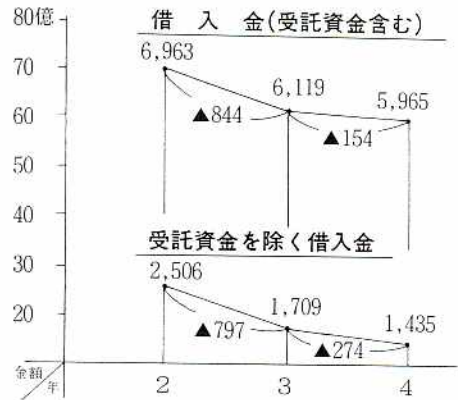
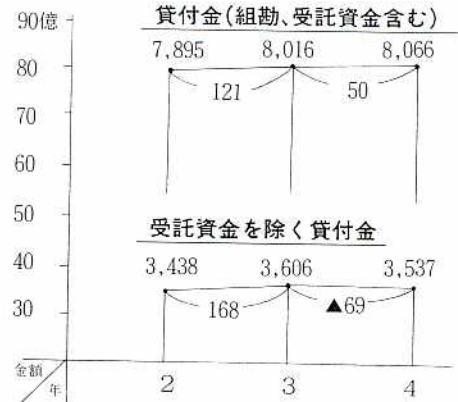
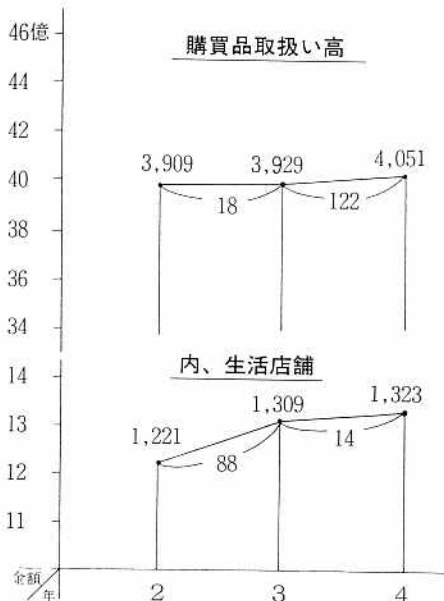
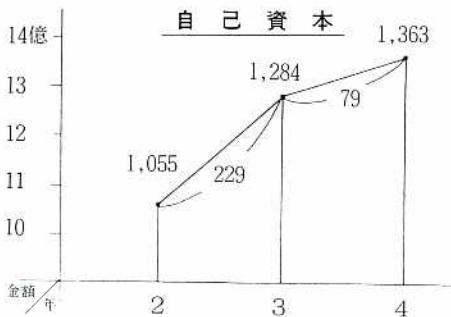
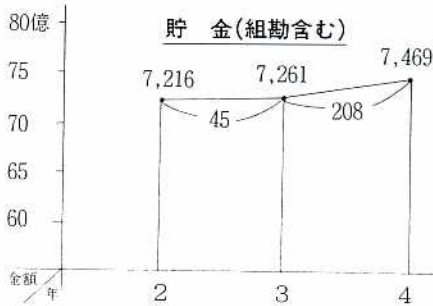
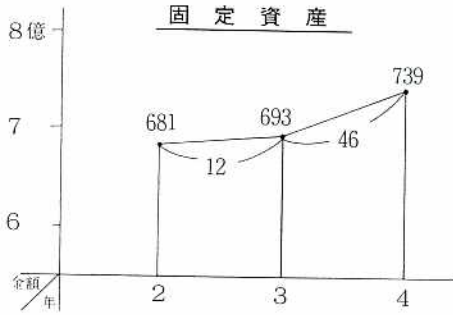
年よりさらに一千四百万円伸ばしております。

不透明な中で激変する厳しい情勢下ですが、業務全般にわたって役職員力を合せ頑張っておりますので、組合員皆様方のなお一層のご理解と、ご協力をお願い致します。



事業概況

各年度12月末現在(単位百万円)



地域畜産活性化総合対策事業

肥育牛舎新築工事始まる



11月30日、工事の安全を祈願し鎮入れ式が行なわれました

乳肉複合経営の育成と地域一貫生産体制の構築を目的に、昭和五十五年度肉用牛集約生産基地育成事業により肉牛生産施設（肉牛生産センター）を設置して、酪農家

一で可能となり、急理理事会に限り申請いたしました。十一月月上旬には許認可され、一月十八日工事が始められ、平成四年度の工事は三月二十日引き渡

の経営安定に努めてきましたが、既存の施設では頭数が六百頭前後に限られること、出荷体重が七百二十〜七百四十kgと大きくなり、肥育期間が長くなった。交雑種（黒毛和種ⅡF1、二十六、七カ月出荷）の対応などで新築に向け、二、三年前から検討し、模索中のところ、平成四年九月、地域畜産活性化総合対策事業で平成四、五年の二カ年で肥育牛舎新築が補助率二分の

第16回定期総会

盛会のうちに終える

平成五年度中標津町農協馬鈴しよ振興対策協議会、第十六回定期総会が一月二十七日、農協大会議室に於いて開催されました。

上原会長の挨拶の後、兎玉組合長の祝辞を頂き、議長に俵橋・佐々木昭雄氏を選出し、提出議案の全件が原案通り承認されました。

引き続き行なわれた役員改選では、各集団から選考委員を選出し、慎重な討議の結果、満場一致で次の役員が選出されました。

- 会長 上原 徳保（再任）
- 副会長 正城 純一（再任）
- 副会長 安達 武（新任）
- 監事 大内 利市（再任）
- 監事 真嶋 正義（再任）

上原会長再任挨拶の中で、会員から要望があります地力増進に係る緑肥対策及びそうか病対策に効果のあるえん麦・ヘイオーツの作付、種馬鈴しよ新品種の導入、健全塊茎の生産、加工生食用の栽培技術の



馬鈴しよ振興対策協議会

向上、また、若い会員の意見を繁栄させ、畑作農家を取り巻く厳しい状況下を会員相互の力を結集し、前向きに行動して参りたいと力強い言葉の挨拶で閉会致しました。

しの子定となっております。

この事業の目的は、乳肉複合経営の育成と地域一貫生産体制の構築と、最近畑作専業農家の乳用雄仔牛哺育育成部門導入による経営安定化、牛肉輸入自由化に対して優位に差別化されている黒毛和種の生産に取り組もうとする酪農家が、意欲的に繁殖基礎雌牛の導入を行ない、素牛の安定的出荷先と高品質の牛肉生産が重要なことから新たに肥育牛舎を設置し、肥育結果に基づいて育成技術の普及体制を推進し、畑作農家の経営安定と良質な素牛生産、黒毛和種牛の産地としての地位の確立することを目的としています。

●平成四年度

肥育舎二、一三八㎡

電気設備、給水設備、敷地整備

カーフハッチ二十基

スーパードアハッチ十二基

ミキサーフイダー一台

ランドベールチョッパー一台

事業費一億二千百万円

●平成五年度

肥育舎二、一三八㎡

電気設備、給水設備、牛誘通路

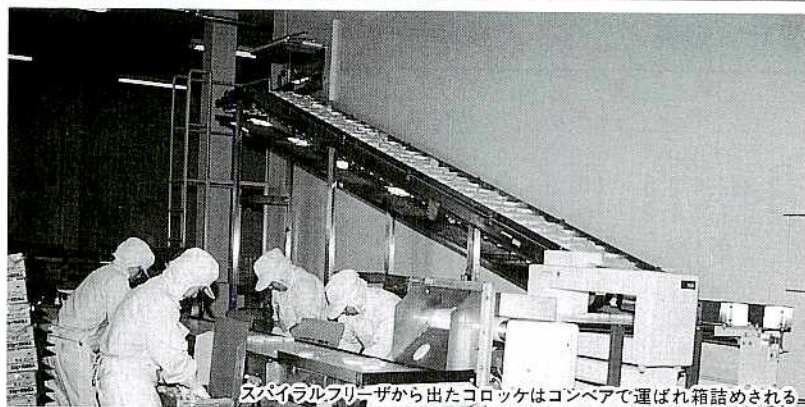
ホイールローダー、計量施設
事業費一億五百万円
各年の補助率二分の一



冬場の厳しい寒さの中、工事は着々と進んでいます(1月25日撮影)

なかしべつフーズ(株) 工場増設の工事完成

生産体制の増強と工場の合理化を図るため、増設工事が行なわれ昨年暮れに完成しました。増設工



スパイラルフリーザから出たコロケはコンベアで運ばれ箱詰めされる

事の主なものは、スパイラルフリーザ(連続冷凍機)の導入で、この機械の導入によりコロケの生産が従来約二倍以上(日産約八万个)の生産が可能になり、製品も冷凍のむらがなくなり、良質のものが出産できるようになりました。また機械化により、人手も余りからなくなりコスト面でも収支の改善が図れるようになります。

しかし、景気の不況により、最近食品業界も大変厳しい情勢にあり需要が減少しておりますが、取引先と接触を重ね鋭意努力をしております。

農協も、なかしべつフーズ(株)については、資金対策、人員面などでも支援措置を講じながら、澱粉原料馬鈴しよの用途転換による付加価値を高め、畑作農家の振興が図られるよう努力をしておりますので、組合員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

生乳生産目標数量に向け 一層の努力を

1月末現在前年対比109.5%の高い伸び



根室管内の生乳生産は下方に向け修正されつつ各農協は取組みをしておりますが、年間目標数量六十五万一千二百六十六トンに対し、五十六万五千四十七トン、前年対比一〇七・七%の高い伸び率であります。また、中標津町農協においても八万六千六百七十一トンの目標数量に対し、一月末現在七万四

千六十二トン、前年対比一〇九・五%の高い伸びを示しております。四年度も残すところ二カ月あまりとなり、酪農情勢の厳しいおりではあります。当農協とし先示した文書の通り超過、未達の数量を確認の上、この目標数量を厳守され、各生産者のお一層の努力をお願い致します。

平成4年度1月 生乳受託実績表

農協名	年間目標数量	上旬		中旬		下旬	
		乳量	前年比	乳量	前年比	乳量	前年比
標津町	66,451,000.0	1,736,650.0	110.6	1,721,190.0	109.7	1,875,730.0	109.5
中標津町	86,671,000.0	2,362,472.0	110.0	2,352,764.0	110.3	2,549,884.0	109.3
計根別	75,526,000.0	2,021,461.0	105.6	1,961,738.0	103.6	2,113,362.0	102.1
西春別	87,940,000.0	2,218,156.0	107.3	2,203,066.0	108.8	2,377,439.0	108.0
上春別	47,239,000.0	1,267,163.0	108.1	1,272,671.0	108.2	1,421,500.0	108.6
別海別	144,659,000.0	3,925,611.0	111.1	3,886,209.0	109.4	4,242,691.0	109.1
中春別	91,589,000.0	2,484,260.0	105.9	2,466,030.0	106.0	2,723,450.0	107.4
根室	47,891,000.0	1,230,137.0	104.9	1,233,519.0	105.2	1,356,251.0	106.3
羅白町	3,300,000.0	76,820.0	108.4	75,900.0	110.8	89,580.0	112.1
合計	651,266,000.0	17,322,730.0	108.3	17,173,087.0	107.9	18,749,887.0	107.7

月計		累計		残量
乳量	前年比	乳量	前年比	
5,333,570.0	109.9	57,415,460.0	109.2	9,035,540
7,265,120.0	109.8	74,062,398.0	109.5	12,608,602
6,096,561.0	103.7	65,245,041.0	108.5	10,280,959
6,798,661.0	108.1	76,248,439.0	108.5	11,691,561
3,961,334.0	108.3	40,420,143.0	108.1	6,818,857
12,054,511.0	109.8	124,533,256.0	107.1	20,125,744
7,673,740.0	106.5	79,057,790.0	105.4	12,531,210
3,819,907.0	105.5	40,702,358.0	105.6	7,188,642
242,300.0	110.5	2,862,430.0	107.4	437,570
53,245,704.0	108.0	560,547,315.0	107.7	90,718,685



理事会

の経過

第十三回理事会

開催月日 十二月十八日
開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、貸付金利率の改定について。
 - 二、クミカン制度移行に係る規程などの改定について。
 - 三、各制度資金の借入について。
 - 四、生産資材（農薬・早取肥料）の対策費支出について。
- 全議案原案通り決定しました。

〈協議事項〉

- 一、平成四年度組勘中間協議後の状況について。
- 二、給餌舎及びパドック整備事業について。
- 三、社団法人北海道国際農業交流協会賛助会員の加入について。

〈報告事項〉

- 一、生乳の生産状況について。
- 二、澱粉工場操業結果と加工馬鈴しょの受け入れ実績について。
- 三、平成四年度産ビートパルプの

調達状況について。

四、年末年始の行事日程について。

第十四回理事会

開催月日 平成五年一月十八日
開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、平成四年度公社畜産基地建設事業の変更について。
 - 二、平成四年度公社畜産基地建設事業基盤整備資金の借入について。
 - 三、肉用牛振興施設事業の変更について。
 - 四、肉用牛振興施設事業に伴う、農林漁業資金共同利用施設資金の借入について。
 - 五、なかしべつフーズ㈱に係る支援措置について。
- 全議案原案通り決定しました。

〈協議事項〉

- 一、平成四年度生乳計画生産について。
- 二、汚染原料乳の損害賠償責任保険の継続について。
- 三、組勘の精算について。

第16回 てん菜生産振興会 定期総会開催

一層の生産向上を

中標津町

農協てん菜生産振興会の

第十六回定期総会が、一月二十五日、農協大会議室に於いて、会員二十四人（本人出席十九人、委任五人）で開催致しました。

名越会長の挨拶のあと、児玉組合長、雨野普及所所長、森下ホクレン原料所所長の祝辞をい



ただき、議長に東依橋の西崎敬造氏を選出し、提出議案の審議が行なわれ、原案通り承認されました。

今年度の新事業として、個人堆積場（ビート土場）の整備に対する一部助成、会員全戸を対象に土壌診断の実施などビート耕作者が減少するなか、一層の生産向上を目指し総会が終了しました。

暮らしの

知恵森



北根室地区農業改良普及所

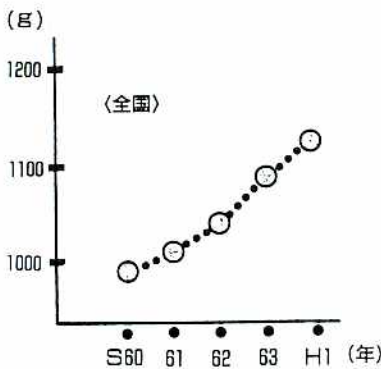
私達の暮らしの中でゴミはいたるところに存在します。近年、生活水準が著しく向上したことにより、さまざまなゴミが家庭から排出されるようになり、またその量も急増しました。ゴミを効率的に、そして環境保全に十分配慮して処理することが、これからますます重要になってきています。

〈ゴミ処理の工夫〉

ゴミも無計画に処理すると、汚れもひどくなります。燃えるゴミ、燃えないゴミとゴミ別にしっかりと整理する場所を決めておくことが必要です。

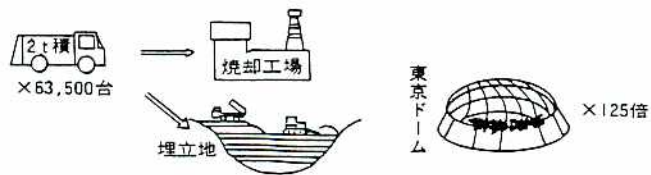
家庭から出るゴミの量

一人一日平均(事業系も含む)
資料提供・厚生省



また、燃えるゴミは、ブロッックで組み立てる焼却炉などを備え付けて焼くようにしましょう。空地

- 1日のごみを、仮に2t積みの収集車で運搬すると、63,500台分にもなる。
- ごみの比重を0.3と仮定すると、1年間のごみの容積は、東京ドーム(地上部容積は1,240,000m³)の約125杯分になる。



で燃やすことは大変危険です。

台所から出る生ゴミの処理はどうでしょうか。そのまま屋敷の片隅や堆肥場に捨てては不衛生です。

コンポストやふた付きのポリバケツを利用して処理するか、浅い穴を掘ってゴミを土の中に埋め、そ

のまま堆肥として利用しましょう。また、作業場のゴミの処理はどうなっているでしょうか。使用済バックサイレージのビニール、肥料、飼料の空袋が散乱していませんか。再利用する物、廃棄処分にする物、業者に引き取ってもらう物に分け所定の場所に片づけ、適切な処理をしましょう。

〈ゴミを出さない工夫を!〉

私たちの暮らしを見ても使い捨ての道具が、どんなに多いことでしょう。便利さと引きかえに大量のゴミを発生しているのです。ゴミを出すことはそれだけ資源を無駄づかいしていることになるのです。したがって、ゴミを出さないようにすることは、環境破壊を防ぐと同時に資源の節約にもなるのです。ゴミ処理の工夫はもちろん、ゴミを出さない工夫も大切なことです。

● ゴミになるものは持ちこまな

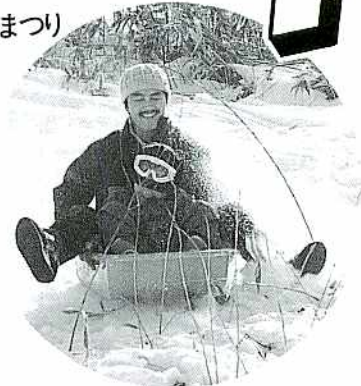
い。買い物に行くときは袋を持っていきましよう。スーパーでくれるポリ袋に詰めるくせがいつの間にかついでにしまいました。買い物



冬は外で遊ばなくちゃ 当幌冬まつり

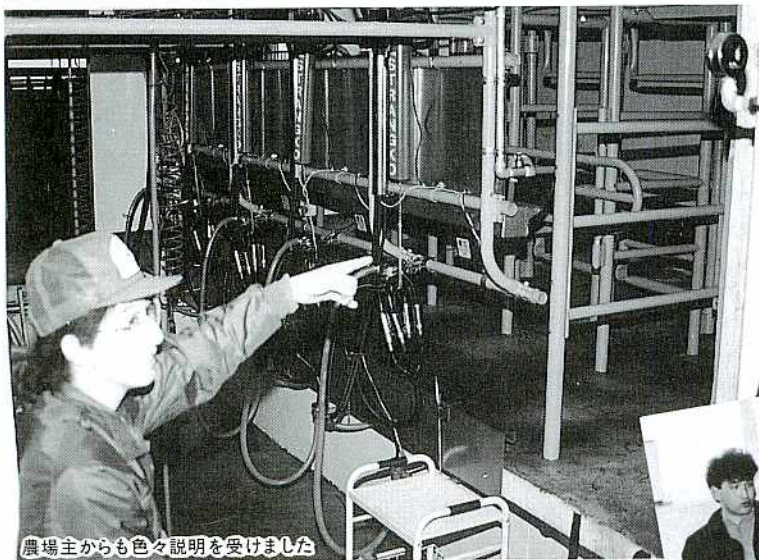
好天に恵まれた青空のもと、当幌冬まつりが1月12日、吉田牧場特設会場で開催されました。

このまつりは、当幌父母の会、青年部とで企画、今年で5回目を迎える。会場には約50人の家族が集まり、焼肉、焼ソバ、暖かい甘酒に舌鼓み。その後、ソリ滑り、スノーモビル、雪中ドッチボールと大人も子供も楽しい1日を過ごしました。



お父さんおっこちないでネ

フ オ ト ア ス ル ド ム



農場主からも色々説明を受けました

青年部調査委員会では、経営規模拡大にともないフリーストール牛舎、パーラー施設が増える中、今後利用しやすい施設建設にあたり、現状施設の調査を実施しました。今回は町内7戸の施設を調査しビデオに収録。今後は標津町の施設も調査し長所、短所をまとめ報告する予定です。

利用しやすい 施設を求めて



牛舎全体をチェックし、長所、短所を探しました

自分の作品に 皆満足 JA 婦人部和紙工芸教室

当日は悪天候のため札幌からの飛行機が欠航となり、急拠ホクレンの飯島さんに講師をお願いし、和紙工芸教室が行なわれました。この日作った作品は薬入れと口紅ホルダー、キーホルダーの3作品。入れ物のフタに和紙をは



線の通りまがらなくてハサミを入れるのはけっこう難しいもの



良い作品を作ろうと作業をする手にも力が入る

り、ニスを塗るだけでとても簡単。受講者は「とても楽しい」と、出来上がった自分の作品に満足し、作品を持ち帰りました。

2月の中旬頃、改めて札幌から講師を招き2回目を開催する予定ですので、是非皆さんご参加下さい。

決意も新たに 今年も頑張らしましょう

中標津町野菜生産組合総会

中標津町野菜生産組合第8回定期総会が1月22日、北根室地区農業改良普及所議室で開催されました。今年は、農林水産大臣賞の受賞決定や、中標



総会では建設的な意見が沢山出ました



産業貢献賞の賞状と記念品を手に今年もがんばりましょうと生産組合の皆さん

津町・産業貢献賞受賞のお目出たい事続きですが、賞の名に恥ないようにと決意も新たに、提出議案が原案通り承認されました。今回の総会では役員改選が行なわれ、次のように新役員が決定しました。

組 合 長 吉米地 静子
副組合長 広瀬 茂子
会 計 丹羽 タカ
監 事 金子すみ子

1月の 組合日誌

- 7日 一般業務仕事始め
- 7日 青色申告会
- 12日 第6回 営農委員会
- 12日 乳牛改良同志会第7回役員会
- 13日 酪農委員会
- 18日 第14回理事会
- 20日 役員協議会
- 22日 酪農実習生受入協議会総会
- 25日 てん菜振興会定期総会
- 25日～29日 定例自治監査
- 26日 第7回営農委員会
- 27日 馬鈴しょ振興会総会
- 28日 管理購買委員会
- 29日 農協酪対役員会
- 29日 婦人部和紙工芸教室



良き思い出を回想

70年ぶりのクラス会

武佐尋常小学校を卒業した同級生5人が1月28日、70年ぶりのクラス会を中標津保養所温泉で開催しました。

5人はそれぞれ明治43年生まれで今年83歳。当時卒業した同級生は40人ほどいたそうですが、戦争や病気で他界した人も多く、今健在なのは約12人との事です。

集まった5人は、卒業記念の写真などを持ち寄り学校時代の思い出話しや、その頃の暮らしなど、70年の年輪を懐かしく振り返り、夜遅くまで語り会っていました。



向かって左から岡本さん、重松さん、高橋さん、志賀さん、川上さん

編集後記

二月といえば冬の間でも一番寒さが厳しい時期と思っていました。今年例年になく暖かく感じます。一月には雪どころか雨が降るんですから、何ともおかしいもの。

町内のスケートリンクも雨で使用不能状態で、再生するのにひと苦労のようです。

これからは各地区で冬の祭典が始まりますが、暖冬と雪不足の影響が心配されるようです。

ところで一月十五日の釧路沖地震にはびっくりしました。最初はカタカタと小さな揺れで、いつものごとく、そのうち終わるだろうと思った途端グラグラと大きな揺れが続き、一時はどうなる事かと…。

この地震で組合員皆様のお宅でも家財、住宅、牛舎などかなりの被害があったと聞いておりますが、謹んでお見舞い申し上げます。

天災とは忘れた頃にやってくると言いますが、今回の教訓を忘れる事なく、もしもの時の対策を普段の生活の中からも考えて行きたいものです。